

新刊 (八月二十日迄に寄附を受けし分)

- 英 學 生 二ノ七、八 東西社
- ハガキ文學 二ノ十二 日本葉書會
- 青 春 二ノ三 青春社
- 彼 蒼 一ノ一、二 濱田書店
- 高知市の一圓正城氏主として編輯せらるゝ文學雜誌にして體裁其他地方の出版物として成功に近し
- 時 好 三ノ七 三越吳服店
- 模様畫の參考となるべき挿圖多し、
- 美術新報 四ノ八、九 畫報社
- 家庭の友 三ノ五(娛樂號) 内外出版協會
- 俳 星 東京純文社
- 白 百 合 二ノ十 東京純文社
- 和田英作氏の表紙畫「睡蓮」を挿む
- 國民評論 六 國民評論社
- 文章 界 二十 文章共習所
- シャシ 月報 十ノ七、八 小四本店
- 園藝の友 一ノ三、四 日本園藝研究會
- 心の花 九ノ八 竹拍會出版部
- 歌 舞 伎 六十四 歌舞伎發行所
- 表情と調和、表情と色彩などの記事あり
- 能 樂 三ノ八 能樂館
- 畫家の參考となるべき挿繪及記事多し
- 手紙雜誌 二ノ四 有樂社
- 繪畫界の將來と圖案、其他繪葉書に關する記事に富む

●卯 杖 三ノ八 秋聲會出版部

●萬國繪葉書 日本葉書會

●各國の繪葉書寫眞版三百種に近く表紙及附録の石版刷又美を極む

●新潮 三ノ一、二 新潮社

●月刊スケッチ 五 スケッチ會

●體裁一變して進歩の跡を示せり、挿圖も

●多く、殊に附録利根の曉風は繪葉書の珍といふべし。

●文 庫 二十九ノ四 内外出版協會

●日本園藝雜誌夏の卷 日本園藝會

●雜誌として曾て見たるとなきハイカラ仕

●立編者の苦心は察するに餘あり、記事に

●は趣味あるもの極めて多くなまなかの文

●藝雜誌をよむに勝ると萬々

●日本名所月六景 六枚一組三十錢 松聲堂

●玉 美 人 六枚一組二十五錢 松聲堂

●前者は土屋光逸氏の筆圖柄も面白く調子

●も佳なれど印刷の稍不注意なるは惜しむ

●べし後者は内藤芳洲氏の筆モサイクを利

●かせし處大に面白けれどかゝる趣味を要

●求する繪葉書愛好者は或は少なかるべき

●か

會 告

●學校又は同志の間に、寫生會、エハガキ

●會等の設けあるものは、其景況をなるべ

●く詳しく通報せられたし

●前項團體及び個人の作品の現物、若くは

寫眞を寄贈せらるれば、優秀なるものに

限り、寫眞版に付して、本誌に登載すべし

左の事項につき廣く投書を求む

□水彩畫に志せし最初の動機

□始めて戸外寫生を試みし時の感

□寫生中に起りし興味ある出來事

□畫を學びし爲めに得たる顯著なる利益

□其他水彩畫に關する意見報導小品文等

以上メ切の期を定めず、半紙十行二十字

詰にて、簡單に、字體明瞭に認められたし

繪畫及寄稿にして、本誌に登載せしもの

には、主任大下藤次郎の肉筆繪葉書一葉

を贈るべし

投稿の返戻を望まるゝ方は、相當の郵券

を添へられたし

水彩畫に關する質問にして、一般讀者に

有益と認むるものは、答へを紙上に掲載

すべし、但初めより返信料を添へられし

ものは直ちに答書を送るべし

眞野紀太郎氏は、遠近法に關する質問に

答へらるべし。

但複雑なる圖説を要するものは此限りに

あらず